

NO:57.1 形式: C-2 サウンド(Sound) 東京サウンド(株)



(ニート、東京サウンドとソノボックスは共同開発したようです。推測)

① バランスフラックス、② 30 ~ 15,000、③ 12、④ 2 mil、⑤ 13、⑥ 3-7、⑦ 600、⑧ 50-80、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬、⑭ 6、⑮、⑯ 1950、⑰ 9,800、⑱、⑳ SG'78、フォノカートリッジ大全（海老沢徹著）を参考

特記事項：カンチレバー部の白いペンキは針先の種類を表す。（10 種類あった。フォノカートリッジ大全（海老沢徹著）から）。この製品には東京サウンドアーム用のホルダー（SP 表示）が附属しています。

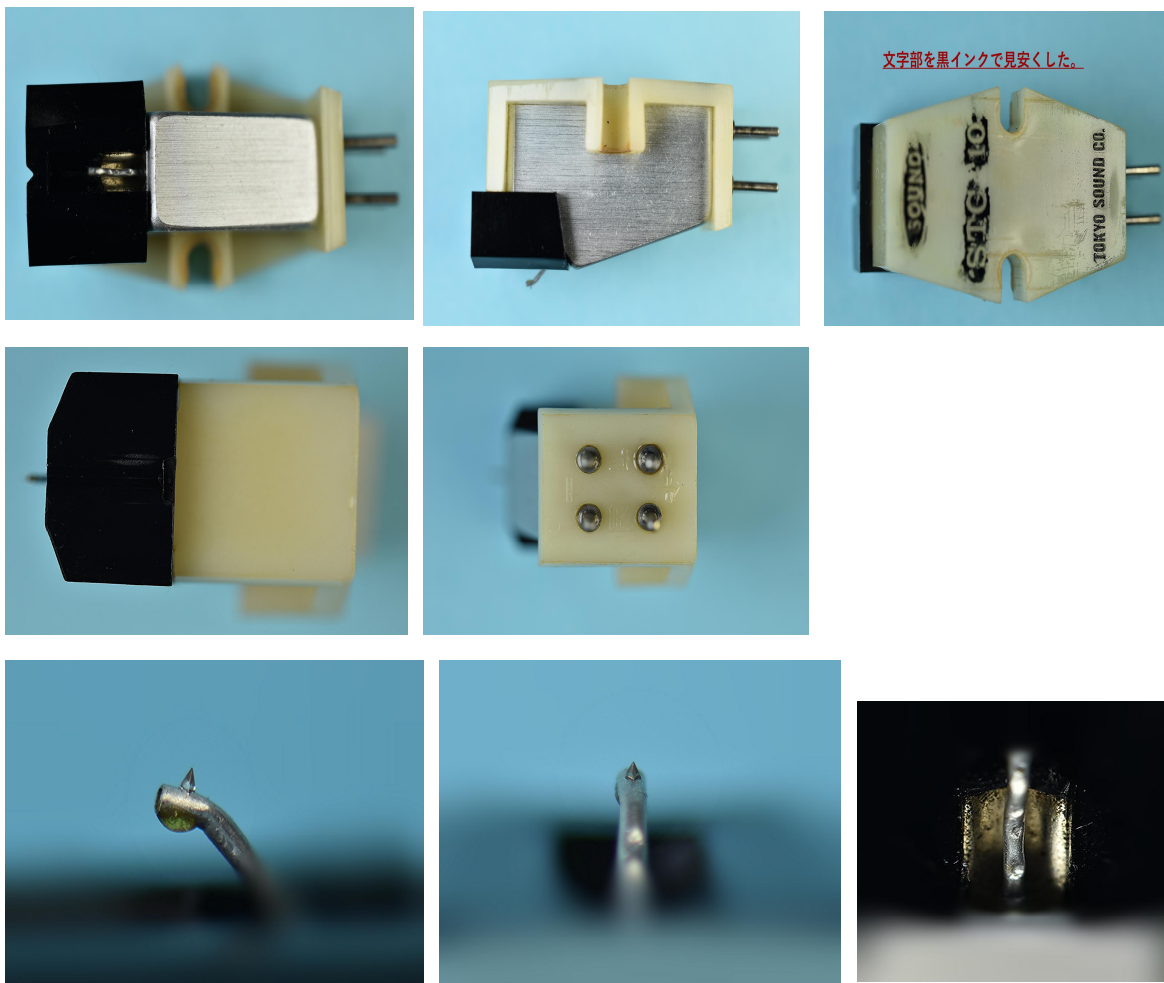
スタイラスは白ペンキ表示 SP(2mil)用針先です。（4-LP-10(1mil)は青ペンキ表示、4-LP-7(0.7mil)は黒ペンキ表示、4-SP(3mil)は黄色ペンキ表示という情報もあります。）

1933 年創業の東京サウンドは、翌年、他社と共同で日本の国産初のバリレ型モラルカートリッジを開発したようだ。型式の「C」は NHK 納入品で、東京サウンドの直接発売品は「STC」が付くように推定しました。

1973 年頃には社名をグヤ（GUYA）に改名しています。

コメント：NHK 仕様のカートリッジ、はりの摩耗も少ないレア製品。試聴したところ明瞭感ある良い音が出ています。

NO:57.2 形式: STC-10 サウンド(Sound) 東京サウンド(株)



(SMC-10E を参考に)

① MM ② 10 - 25 k、③ 5 ④ 0.55 mil ⑤ 6.0(実測)⑥ 0.7-2.0 ⑦、⑧ 30-100k、⑨、⑩、⑪ 27、⑫、⑬ 18.5、⑭、⑮、⑯ 1970、⑰ 6,900、⑱、⑳ '73SG

特記事項：カンチレバーの大きな凹部が気になります。インターネットの商品にもこれに似た凹部があるように見えますので当初からのものと思われます。

1973 年には改名した社名グヤ（GUYA）で MM 型カートリッジの STC-10E、STC-11 並びに MC 型カートリッジ SMC-4E を発売しています。

コメント：1.5g で試聴したところ、出力電圧は 3mv 位、柔らかな優しい音です。低音はツマリ気味に感じます。